

四三七七四番

天地あめつちの神かみを祈いのりて さつ矢貫やぬき 筑紫つくしの島しまを
さして行くい我われは

四三七七五番

松まつの木けの 並なみたる見みれば 家人いはびとの 我われを見送みおくる
と 立たたりしもころ

四三七七六番

旅行たびゆきに 行ゆくと知しらずて 母父あもししに 言申ことまをさずて
今いまぞ悔くやしけ

四三七七七番

母刀あもとじ自じも 玉たまにもがもや 戴いただきて みづらの中なか
に 合あへ巻まかまくも